

6月16日・30日 昔の授業体験 まるでタイムスリップしたみたい!?



▲かすりの着物に石盤、石筆。普段とは違った授業を体験しました

かすりの着物を着て「昔の授業体験」ができるイベントが旧見付学校で行われました。授業では、ノートや鉛筆の代わりに石盤と石筆を使って昔の字を書いたり、折り紙や羽根突き、こま回しなどの遊びを体験したりしました。

参加した高畑壮佑さん（青城小4年）は「自分が知らない、昔のカタカナやひらがなを石盤に書くのがとてもおもしろかったです」と話しました。

6月15日 旧見付学校記念式典 ありがとう！入館者50万人達成



▲くす玉を割り、笑顔いっぱいの荒井さんご家族

旧見付学校は、平成4年1月に「郷土館」から名称を変更して27年がたち、入館者50万人を達成しました。50万人目は浜松市在住の荒井さんご家族。お祝いに駆け付けた村松教育長とっぺいと一緒にくす玉を割り、花束と記念品が贈呈されました。

ご家族を代表して荒井格さんは「初めて来ましたが、子どもも大人も楽しめる素晴らしい場所だと思います」と話しました。

6月5日 第4回竜洋学府大交流会 小学生と中学生が絆を深める



▲一緒に遊ぶことでお互いの良さを見つけ、成長していきます

竜洋学府（竜洋中学校区）の4つの小中学校の児童生徒約1,500人が、交流を通じて親睦を深める竜洋学府大交流会を竜洋海洋公園で行いました。

開会式で竜洋中学校3年生の大澤真輝さんが「ハートを集めて心温まる大交流会にしたいです」と交流会への思いを話しました。

中学生と小学生が一緒になって、スポーツやゲームをしたり、お弁当を食べたりして絆を深めました。

6月4日 保健師・栄養士が健康チェック 出張！「まちの保健室」



▲骨密度測定や、骨粗しょう症予防の食事を紹介しました

まちの保健室は、市内の交流センターなどで実施する健康イベントです。6月の食育月間に合わせ、より多くの方に利用してもらおうと、大久保の「いとこまんぢゅう」などの市内店舗でも実施しました。

大谷久美子さんは「骨密度の測定で、今の自分の状態が知れて良かったです。骨だけでなく健康維持に大切な食事を教えてもらったので、今後の生活の参考になりました」と話しました。

ARのマークが付いた写真はAR動画が再生されます。利用方法は2ページをご覧ください。

「まちの話題」はFacebookやYouTubeなどでも公開しています。右記2次元バーコードよりご覧ください。



6月19日 磐田なかよしこども園イベント おすもうさんがやってきた！



▲力士を相手に、園児5人がかりで相撲を取りました

磐田なかよしこども園の給食を担当している(株)魚国総本社の主催で、大相撲の片男波部屋の玉鷲関と玉金剛関と園児の交流イベントが行われました。

子どもたちの勢いで力士が転がったり、軽々と子どもたちを持ち上げたりすると大きな歓声が上がりました。園児が「どうしたらおすもうさんみたいに大きくなれますか」と質問すると「好き嫌い無くいっぱい食べると大きくなれるよ」と答えました。

6月6日 福田中学校創立70周年記念 復活！砂の造形大会



▲上手に作ってもらい、どこかうれしそうに見える「ウミガメ」

福田中学校は今年で創立70周年を迎えます。これを記念して10年ぶりに生徒会主催で「砂の造形大会」が復活しました。生徒たちは中学校の前の海岸で、クラスごとに「ウミガメ」や「人魚姫」など、海にまつわるものをテーマに砂で形づくりしました。

汗ばむ陽気の中、みんなで協力して1つの作品を完成させたことは、生徒たちの思い出の1ページとなりました。

写真が動く!? AR動画をご覧ください

AR

まちの話題 番外編



みんなで「故郷」を合唱

磐田第一中学校の第2音楽室で開催された「街コンサート」。中学生と地域の方が一緒に歌ったすてきな歌声を聞いてみよう！

▲専用アプリの利用方法は2ページへ

6月6日 学生がママ向けオリジナル健康講座 地域で学ぶ！保健師の卵たち



▲成長に合わせた子どもの関わり方について話しました

子育て中のお母さんを対象に、市が実施している「こんにちは赤ちゃん相談」で、保健師を目指す聖隷クリストファー大学の看護学生が、オリジナルの健康講座を厚生会館で開催しました。

安間友香さん(4年)は「市民の方と交流することで、今まで学べなかったことも、学ぶことができました。自分の将来のためによい経験になりました」と話しました。